

なぜ、下級生は廊下を 直角に歩くのか

2刷

タカラヅカ100年の「あるある」に学ぶ組織論

管理職・経営者に人気!

男役・娘役、宝塚魂、舞台裏、年功序列、あいさつ、ファン……

本当はすごい、タカラヅカエピソードの数々から、100年もの永きにわたり多くの人に圧倒的な夢を与え続ける「宝塚歌劇団」の秘密が今、明らかに!

元タカラジェンヌの姉・桐生のぼる&舞台芸術愛好家で国際機構に奉じる弟・福井龍。

曾祖父の代から芸事に縁のある家系に育った二人だからこそ書きえた1冊。

●目次

第一章 「男役」「娘役」

第二章 宝塚魂

第三章 舞台裏

第四章 年功序列

第五章 あいさつ

第六章 ファン ファンに育てられ励まされ

タカラヅカ考(福井龍 解説)

●著者 姉／桐生のぼる

(元宝塚歌劇団星組)

株式会社PETIPA 代表取締役。元宝塚歌劇団星組。新人公演『ベルサイユのばら』のオスカル役などで人気を得た後、娘役に転向。『オルフェウスの窓』のアルラウネ役を最後に退団。結婚後、子育てをしながら舞台制作・演出・振付を手掛ける。のじぎく兵庫国体の『はばタンダンス』振付担当。幼稚園教諭・保育士のための「みんなができるダンス・お遊戯研修会」、経営者向けのセミナー・研修は全国展開。

●解説 弟／福井龍(アジア開発銀行)

京都大学法学部卒。ロンドン大学修士(金融経済学)。政府系金融機関にて長期金融に従事したのち、国際開発援助に転じる。経済協力開発機構(パリ)、世界銀行アフリカ局金融・民間部門専門家(ワシントンDC)、同東京開発ラーニングセンター長、JICA各種委員などを経て2011年2月よりアジア開発銀行 知識共有センター長。2012年3月より京都大学グローバル生存学大学院連携プログラム国際アドバイザー兼任。フィリピン国マニラ在住。

【読者の声より】

とてもすてきなタカラヅカ。あの夢の舞台を私たちにを見せていただくためにこれほどの努力をされていたとは。知らなかったことがイキイキと楽しく書かれていて本当に心も輝き出す本です。後半の弟さんの分析「タカラヅカ考」も発見があって面白いです!!



著者: 桐生のぼる (元宝塚歌劇団星組)
解説: 福井龍(アジア開発銀行)
発売日: 2014年4月11日
定価: 本体1400円(税別)
判型: 四六判 216ページ
ISBN: 978-4-8443-7626-2
発行: 株式会社ペンコム
発売: 株式会社インプレス

『なぜ、下級生は廊下を直角に歩くのか』 桐生のぼる

注文欄

ご注文数

冊

貴店番線印

ご注文は、このままFAXで

送信日

発売元: インプレス受注センター行

FAX. 048-449-8041

【内容に関するお問い合わせ先 ペンコム(発行)】

Tel:078-914-0391 Fax:078-959-8033

ご担当()様